

学校教育計画（令和6年度～令和8年度）
3年間の目標と主な方策

	視点	3年間の目標	目標達成に向けた主な方策
1	教育課程 学習指導	<ul style="list-style-type: none"> ・本校の特色・生徒の進路実現に沿ったカリキュラムを円滑に実践する。 ・コミュニケーション能力、ICT運用能力を高める授業を推進する。 ・生徒が主体的に学習に臨むための態勢を整える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各教科の課題意識を集約し、全体で共有するとともに、多様な科目に対応できるよう、教員の授業力を高める。 ・ICT機器を活用した実践の成功例を共有する。 ・長期休業中の講習を充実させ、生徒の参加を促す。
2	(幼児・児童・) 生徒指導・支援	<ul style="list-style-type: none"> ・学校行事、委員会活動、部活動、ボランティア活動を通じ自ら進んで参加する精神を確立し、次世代を担えるリーダーを育成する。 ・挨拶を軸とした規律ある学校生活を確立させる。 ・充実した教育相談体制を維持・継続する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・完校に向かい学校規模が縮小してゆく中、学校行事や委員会活動などの企画及び運営において、生徒自らがルールを決めて実行する自律意識を高める。 ・生徒自らが主体的に取り組む意識を醸成する。 ・教育相談担当以外の教職員との連携強化を図る。
3	進路指導・支援	<ul style="list-style-type: none"> ・希望の進路実現のために、高校入学後の早期に進路意識を高めさせ、多様な入試に対応できる力を身に着けさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・総合的な探究の時間を軸に据え、早期に進路を考えさせるプログラムを組む。
4	地域等との協働	<ul style="list-style-type: none"> ・シチズンシップ教育及びボランティア活動などを通して地域社会の中の自己を意識できる活動を展開する。 ・地域の教育力を活用した学びを深め、家庭や地域社会との共通理解を深めさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域社会との活動や行事等をさらに活発化させるために校内での体制の構築を行う。 ・地域の人材を活用することで実社会により密接な生きた授業を積極活用する。
5	学校管理 学校運営	<ul style="list-style-type: none"> ・事故、不祥事防止に向けた取組を徹底し、信頼される学校づくりを進める。 ・安全・安心で円滑な学校生活が送れるような校内環境を維持する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事例研修等を通じて事故、不祥事防止徹底の意識を醸成する。 ・ICT機器を積極的に活用し、業務効率化を図りながら安全・安心な学校生活を実現する。